

中学生・受験生のための医療倫理学入門

講座概要

この講座では、将来医療者になってみたいと思っている中学生・高校生・大学受験生のみなさんと一緒に、望ましい医療・医療者のあり方について考えます。専門的な知識や技術を身につければ、治療やケアが可能になって、患者もその家族もそして医療者も皆が幸せになる一なんて、医療の世界はそれほど単純なものではありません。正不正・善悪の判断が簡単につかない悩ましい問題に満ちています。医療者になるには、答え合わせができるような勉強をするだけではぜんぜん足りないのです。群馬大学医学部医学科では1年次に「医の倫理学」を90時間、1～3年次に「医系の人間学」を270時間開講して、暗記力などではなく、想像力や感性、考える力をみがき、人間や社会の問題に向き合うことになっています。その中からごく一部を公開し、医療者になりたい気持ちがいっそうふくらみ、すぐには答えられない問題をすすんで考える楽しさを体感してもらい、そんなきっかけを作ることが、ねらいです。

実施責任者：医学系研究科教授 服部 健司

□講義日程

日 程		講 義 内 容	講 師
第1回	8月3日(火) 19:00～20:30	【現代の医療倫理学の成立】 医療現場の倫理には古代ギリシャ以来の長い歴史がある。変わっていないものもあれば、大きく変わったものもある。現代の医療倫理学は1960年くらいに形づくられた。それ以前のものとは一体どこが違うだろうか。2005年以降、さらに大きな変化が起きてきた。変化は進歩を意味するだろうか。	医学系研究科教授 服部 健司
第2回	8月4日(水) 19:00～20:30	【臨床倫理学ケーススタディ】 医療者はどう振る舞うべきかを医療者自身が考え出したのが医療倫理学。この閉じた考え方に医療者でない人たちが風穴を開けた結果生まれたのが生命倫理学（バイオエシックス）。そして目の前の個別具体的なケースについて考えるのが臨床倫理学。この時間は、ケースをひとつ紹介して、それについて一緒に考えてみよう。	